

60代でスマホ所有率が初めて5割超え、フィーチャーフォン所有率を上回る

～最新調査でみる、シニアのデバイス所有状況～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果1 : 60代でスマホ保有が56%、フィーチャーフォンを逆転

調査結果2・3 : 60代は男女ともスマホ&パソコンが多数派

70代、男性はばらける、女性はフィーチャーフォンが主流

■ 調査結果

1-1 60代でスマホ保有が56%、前年比+11%、70代も前年比+10%

2018年1月に3回目（2015年・2017年実施）となるシニア調査を実施した結果、ついに60代のスマホ保有が5割を超え、フィーチャーフォン所有を上回った。70代においても3割を超えた（図1）。ただ、フィーチャーフォン所有率の減少がここ1年では鈍化している。

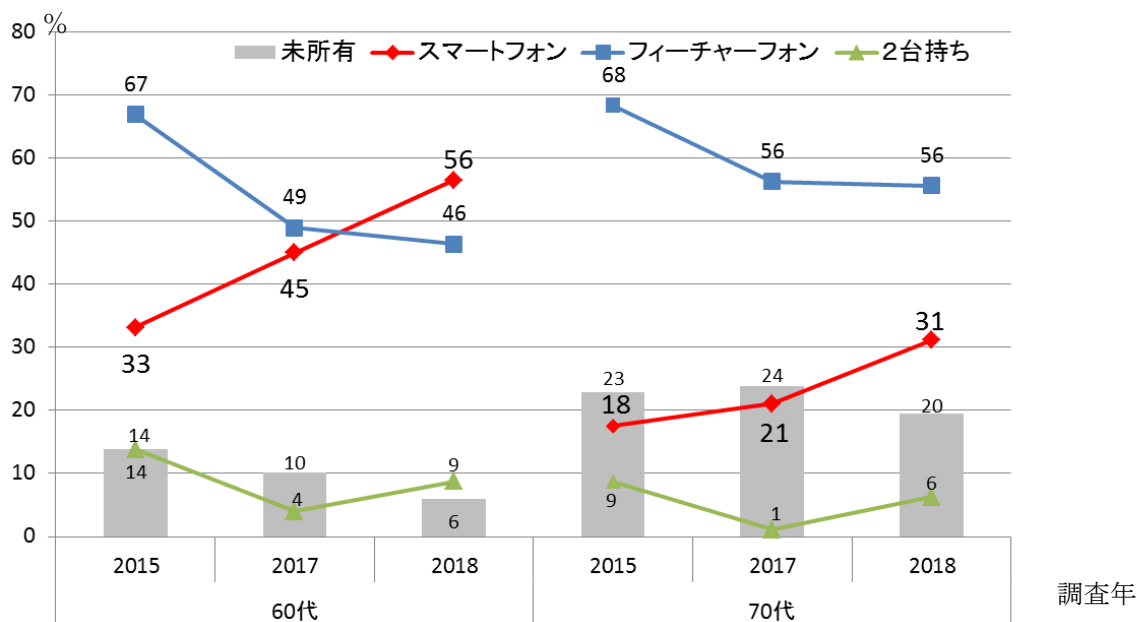


図1 シニアのスマートフォン・フィーチャーフォン所有状況

2-1-1 男性、60代はスマホ&パソコンが多数派、70代はばらける

スマホ・フィーチャーフォンと合わせて、パソコンの保有状況を確認する。男性は、60・70代共に、2割程度スマホ所有が伸びた。一方、パソコン所有は60代で8pt減ったが、70代では6pt伸びた。その結果、図2の通り、60代ではスマホ・パソコン持ちが最も多くなった。70代は、スマホとパソコン持ち、フィーチャーフォンとパソコン持ち、フィーチャーフォンのみ、3種全て未所有がそれぞれ2割程度存在し、分かれる結果となった。

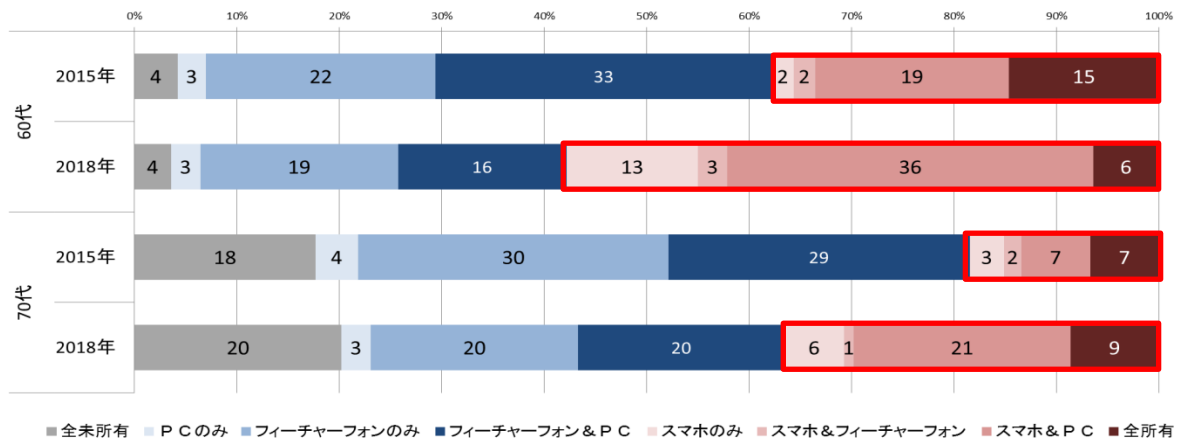


図2 男性シニアのICTデバイス保有状況

2-2—— 女性、60代はスマホ&パソコンが多数派、70代はフィーチャーフォンが主流

女性も60代においては、3割弱もスマホ保有が伸び、パソコン保有も6pt増えた。その結果、男性同様女性もスマホとパソコン所有が最も多くなった。70代も、スマホ保有は2割弱伸びたが、パソコン保有は横ばいである。依然、フィーチャーフォンのみ所有が5割弱と多数を占めている（図3）。

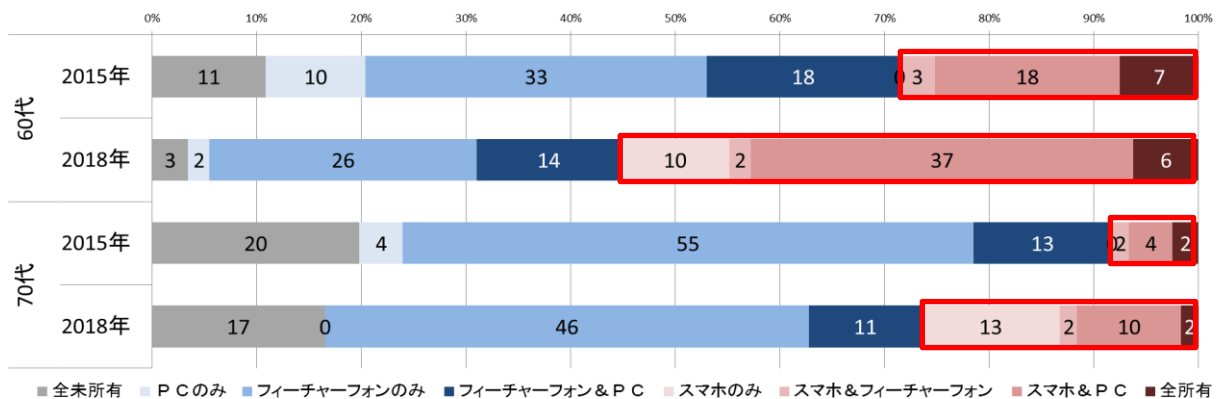


図3 女性シニアのICTデバイス保有状況

スマホが増えることによって、シニアの連絡手段がどう変わったか、次号でお伝えする。

■調査概要（調査名 シニア調査 訪問留置調査）

調査時期 : 2018年1月 調査対象 : 関東1都6県、60～79歳男女
 標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都市規模で割付 510サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
 株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087